

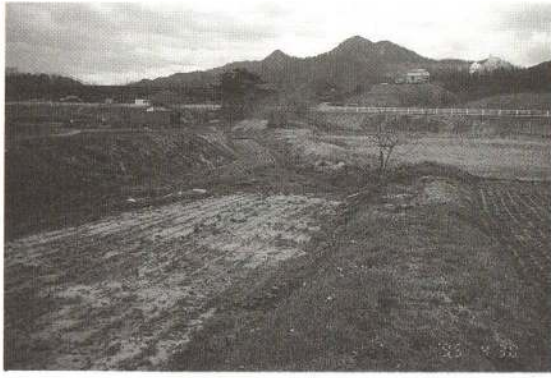
大館の歴史散歩

流れを
訪ねて ③

花岡川とその流域

この川は田代町と境をなす袴腰山塊の東部、標高五百メートル以上の山のふところに源を発し、神山集落の北東部で大森川に合流するおよそ六・六キロメートルにわたる花岡川内だけをながれる川である。

繁沢を南下する川は、右岸に「大國主神社」(市の指定文化財である「虚空蔵菩薩」を祀り、丑寅年生まれの人たちの守り本尊として



▶旧花岡川の面影を残す
信正寺西側七ツ館付近

全国的に崇拜されている)を見て、宝永元年(一七〇四年)草創といわれる繁沢集落の村西を流れ、土目内集落の南に至る。ここからは「イタテ遺跡」のある台地に当たり流れを大きく南に変えて、右手に珠洲焼きの壺が三個出土した「長森遺跡」の高台を眺めながら本郷集落に入る。

昔、坂上田村麻呂が蝦夷征伐の際「思いある心の内の滝なれや、落ちると見えて音の聞こゆる」と詠み、柱に書き残したという伝承を持ち、「根井大権現」(根井下の創設者といわれる「白滝但馬」の氏神と伝えられる)を祀る山の西側裾野を南下する。

本郷集落の起源は天正年代(一五七三年頃)に花岡を治めた浅利定頼の居城「七ツ館」に求めることができる。その居城跡には今も桂清水跡の太木が生い茂り、小さな祠がある。明治元年の戊辰戦争の際、津軽藩境の夏越峠から内町沢を通り花岡川源流域の山沢を越えて津軽の援兵が鳥潟家(現鳥潟会館)に宿をしている。

昭和初期の花岡川は、七ツ館か

ら信正寺(秋田六群三十三観音札所)の西側を桜町方面へ流れていたが、ちょうど堂屋敷鉾床の上を縦断していて、地下採掘で地表の所々に陥没を生じ、坑内に川水が浸水する危険に直面したため付替工事が施工され、現在は信正寺の山門前を前田方面に流れている。

この付替工事の大半は、大戦中に中国から連行された人たちの過酷な重労働のもとで進められたが、終戦後は県の手で完成された。

今、この土手には花岡中学校の卒業生が記念植樹した桜があり、春には人々の心を和ませている。

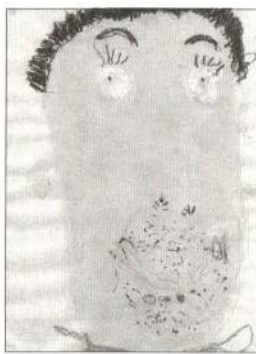
川は悠久の流れの中で、多くの歴史を母のように語ってくれる。

市役所史跡深訪会

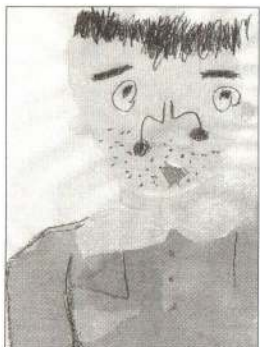
ちびっぴーギャラリー おとっさん



かわた さきちゃん
かくれんぼやじてんしゃで
いつもあそんでくれるよ。



なみおか かずきくん
よるいっしょにロボット
であそぶんだ。



さいとう ふうちょうちゃん
わたしたちをドライブにつ
れていってくれるの。

雪沢保育所

クイズ 広報 おおだてがヒント

- ▽問 題
- ① 今年の植樹祭の開催地は?
 - ② 広報市民リポーターは何人?
 - ③ 秋田桂城短大人間福祉学科の1年生あたりの定員は?
 - ④ 中国人殉難者慰霊式はいつ?
 - ⑤ 広報おおだての発行は毎月何日と何日?
- ▽応募方法
- はがきに住所、氏名、年齢、性別、答え(例①—②—)を書いて応募ください。
- 6月26日(月) 当日

- 消印有効
- ▽応募先
- 〒017大館市宇中城20番地
- 広報おおだてクイズ係
- ※全問正解者の中から抽選で5人に、広報おおだてオリジナルテレカ(秋田犬)を贈ります。
- ▽5月16日号の答え
- ① ターゲット・バードゴルフ
 - ② 139件
 - ③ 4月27日
 - ④ 卓球講座
 - ⑤ メラシ
- ▽5月16日号の当選者
- ・若松照子さん(白沢2区)
 - ・渡辺和夫さん(南ヶ丘)
 - ・目時健一さん(茂内屋敷)
 - ・木村トミ子さん(南ヶ丘)
 - ・因幡英美さん(秋野台1区)